



Honcho

本町小学校 学校だより

<http://www.honcho-e.sapporo-c.ed.jp/>

令和5年4月26日 5月号

札幌市立本町小学校



TEL 781-8290

FAX 783-5941

不易と流行

教頭 高野 聖

私が教員になりたての頃、先輩教員から教えられた言葉です。不易とは、「いつまでも変わらない本質的なもの」と捉えます。また、流行とは、「時代に応じて変化するもの」と捉えます。学校で子どもたちを指導していく立場の人間として、この2つをしっかりと理解し、使い分けていくことの大切さを先輩教員から教えられ、これまでそれを意識しながら教員を続けてきました。

ふと気が付けば、私は教員になってから26年が過ぎました。この26年間、教育現場では、様々な流行がありました。その時代のニーズに合わせて設定される「学習指導要領」は、その時代での最新の指導方法や理論を取り入れながら、最新の技術・理論・枠組で教育活動を進めていくものです。「生活科」の新設や「総合的な学習の時間」の新設、さらには「小学校外国語活動」の導入などもこの学習指導要領の変遷の中で行われたものとなります。しかし、不易なものは、やはり26年前から変わらずに残り続け、今でもそれらは欠かすことができないものとなっています。例えば、学校生活においては、個性を大切にしながらも、学習や行事における集団活動での取組や、体験的な活動を通して学ぶ人間関係の形成やリーダーとしての成長、入学式や卒業式などの儀式において、厳かな雰囲気の中で異学年の仲間の門出を祝ったり、または歓迎することは、今も昔も変わらずに教育活動の中で大切にされています。その取組を通して、子どもたちが厳しい現実社会を生き抜く力を育てる取組がなされてきました。



世の中ではこの数年、目まぐるしい変化が起きています。コロナ禍の前後で、ライフスタイルが大きく変わりました。また、教育現場も1人1台端末の導入などにより、大きく変化しました。これらは果たして、不易なものとなるのでしょうか。それとも流行として消えていくものなのでしょうか。

コロナウイルスの感染拡大により、これまで不易だったことが、変わりつつあります。これまでの常識がそうではなくなったこともたくさんあります。ここで気を付けなければならないことは、その変化は良いことなのか悪いことなのか、そのままよいのか元に戻すべきなのか、はたまた、より改善していくべきものなのかについて、教員、保護者、地域という、子どもたちを取り巻く大人が、正しい取捨選択をし、不易と流行を使い分け、正しく子どもたちに伝えていくことが大切だと考えます。

変化というものは、決してマイナスなことではありません。より良く変化していくことがこれからの時代は大切です。「トランスフォーメーション」という言葉が、最近はデジタルの世界でも話題となっています。変化を「改革」と位置づけ、自分たちの生活をより豊かにしていく変化に使われています。



今回のコロナ禍は、子どもたちの将来がより豊かなものとなるよう、我々大人たちが真剣に考え、改革を進めることが大切な時期なのかもしれません。これからの時代の「不易」と「流行」がどのように変化していくべきなのか、私も真剣に考えながら、教育活動に携わっていきたいと思います。



行事予定

日にち	曜日	主な行事	日にち	曜日	主な行事
1	月	全校朝会① 聴力再検査 教育相談日	16	火	PTA 資源回収日
2	火	登校指導 避難訓練①	17	水	SC(午前)
3	水	憲法記念日	18	木	クラブ ALT
4	木	みどりの日	19	金	ALT 6年生修学旅行保護者説明会
5	金	こどもの日	20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	
8	月	運動器検診問診票配付	23	火	
9	火	SC(午前)	24	水	
10	水	クラブ所属決定 眼科検診(1・4年)	25	木	
11	木	児童委員会	26	金	
12	金	ハートフル集会(全校道徳集会) 運動器検診問診票回収	27	土	
			28	日	
13	土		29	月	
14	日		30	火	運動会全体練習① 時間目
15	月	運動会特別時間割開始	31	水	運動会全体練習② 時間目 SC(午前)

参観懇談のお礼

4月14日(金)に、今年度、最初の参観懇談を行いました。学習参観では、進級したお子様の学習の様子を参観していただきました。いかがでしたでしょうか。

また、新しい校舎で、全校一斉での参観懇談を行いました。皆様の御協力のおかげをもちまして、大変円滑に実施することができました。ありがとうございました。

職員紹介

4月17日(月)付けて、いちい・さくら学級の担任として着任した教諭を紹介します。

池田 有希 教諭

【苫小牧市立沼ノ端中学校より】

はじめまして。苫小牧市立沼ノ端中学校から来ました**池田 有希**です。とても、きれいな校舎で子どもたちと一緒に時間を過ごすことを、楽しみにしていました。途中からはなりましたが、精一杯頑張っていこうと思います。よろしくお願いします。

○ ALT Thomas Sickler (トーマス先生)

○ にーごプロジェクト6年講師 袴田知美 教諭

※にーごプロジェクトとは、高学年の算数を対象に、少人数で指導を行うことで、子どもの学習意欲や論理的思考力を高めることをねらう取組です。

運動会について

今年度の運動会も、グラウンドが使用できないため、東栄中学校のグラウンドをお借りして、6月3日(土)に実施する予定です。午前日程で行います。

詳しくは「学校だより運動会特別号」にてお知らせします。

学校諸費口座引き落とし日のお知らせ

4月27日(木)に、1回目の学校諸費引き落としがあります。引き落とし金額を御確認の上、ゆうちょ銀行の口座への御準備をお願いいたします。

「CAN-DO リスト」の活用

外国語専科 紺野響平

外国語学習の「CAN-DO リスト」とは、学習指導要領が示す目標に基づいて、「英語を用いて何ができるようにするのか」という学習到達目標を設定し、具体的にリストの形に示したものです。5・6年生の子どもたちに「話す、聞く、読む、書く」の4技能をバランスよく身に付けていき、自分の考えを適切に表現してコミュニケーションできる能力や技能を高めていきます。学期末には、自分のできたことを振り返り、自分でチェックしていきます。

この「CAN-DO リスト」を通して、学習に対する意欲を高めたり、「できるようになった」という達成感を得たりすることで、更なる学習意欲の向上につなげていきます。